

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール 【 グループホーム・サラ (評価日：令和8年3月13日) 】

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事務所内に掲示し、毎週月曜日の申し送りにて復唱し、全職員が理念の共有に努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	鹿島祭りに、参加・見学し、地域の方と交流している。町内の避難訓練に参加させて頂いている。運営推進会議に利用者も一緒に参加し町内の方と交流を図っている。	町内行事にも参加し、コロナ前に近い形で交流が深まってきている。今後より一層交流を深め、互いに協力しながら運営して欲しい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2カ月に1回定期開催し、取り組みや状況を報告している。頂いた意見を全体周知しサービス向上に努めている。	町内会長、老人クラブ会長、民生員など、地域住民の参加が多く有意義な機会となっている。入居者の参加も多く、今後もこの形を継続してほしい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活保護受給者について日常生活の報告を行うなど、連携を図っている。	地域住民の中で生活保護受給者も複数名いらっしゃる。民生員も適宜訪問しているので、大変さを理解している。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な内部研修を実施し、職員一人一人が身体拘束について理解を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会の資料を見せてもらい、身体拘束しないためのケアを実践しているのが理解できるので、継続してほしい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な内部研修を実施し、職員一人一人が虐待について理解を深めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会の資料を見せてもらい、虐待しないためのケアを実践しているのが理解できるので、継続してほしい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部研修にて日常生活自立支援事業や成年後見制度を学ぶ機会を持っている。権利擁護センターを利用されている方がいるため、担当者との関わりを持っている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に、十分な時間を取り、不安や疑問を取り除き、誤解が生じないように配慮している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会時や電話、メール等にて近況報告を行っている。また、運営推進会議に家族に参加いただき、意見や要望を伝えやすい環境づくりに努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これまでの対応を継続して欲しいが、時代に合わせて、ラインやメールでのやり取り、テレビ電話の活用なども今後実践して欲しい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	フィードバック面接や毎月のミーティング、業務改善委員会からの検討内容を取り入れて反映させている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	資格取得に向けた協力体制、各家庭の状況に応じた勤務体制等、職場環境の整備を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員が充足していることは評価できることと思う。その上で、よりサービスの質の向上にむけて、資格取得の支援やどんどん拡充して欲しい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月内部研修を行い、職員一人一人のスキルアップに努めている。また、認知症介護実践者研修や調理など外部研修に参加している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月様々な研修を実施しており、大変だと思うが、外部研修の参加は職員にとっても刺激になると思うので、参加させていくようにしてほしい。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染対策等により機会は少ないが、外部研修への参加、相互訪問により他施設職員との交流の機会を持ち、得たものをケアに反映させるよう努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家事やレクリエーション等、日常生活の中で、各々が関わりをもち、互いに好影響し合える関係性の構築に努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会や外出を通じて、なじみの関係が続くように配慮している。ご家族だけではなく、友人やお弟子さんの面会も確認できている。	家族や友人、お弟子さんなど多岐にわたる方々が面会に来られている。居室でゆっくりと面会できるように配慮している。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	例として、個人での新聞購読、携帯電話での通話を支援している。日常の何気ないコミュニケーションから、思いや意向をくみ取れるよう心掛けている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期・随時ミーティングを行い、課題や対応方法の検討を行っている。居室担当職員と計画作成担当者を中心として、個別のニーズに答えられるよう計画を作成している。	都度ミーティングや会議を開催している。法令遵守したうえで、ケアプランの更新のタイミングを伸ばせないか検討してみては。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	話し合いの場をより一層もうけ、より意義のあるケアプランとなるよう検討して欲しい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の体調の変化や気づきを記録に残し、情報を共有している。介護計画にも反映させケアの統一に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別記録の他、職員間の情報共有ツールをもっと発展させていってほしい。どうか。ラインワークス以外の新たなツールも検討して欲しい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様と一緒に買い物や通院等、急な場合であっても個別に柔軟に支援し対応している。	個別に買い物支援や家事動作の役割分担などを推進しており、今までできたことを継続できるよう工夫している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回数名ではあるが地域の「おしゃべり会」に入居者と職員が参加。地域交流により安全で豊かな暮らしへの支援を行っている。	地域のコミュニティサロンの一つである「おしゃべり会」への参加を実施しており、継続していきたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別にかかりつけ医や病院への受診、往診対応を調整している。本人、ご家族の納得性を重視し対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関の担当者と「顔の見える関係性づくり」を強化し、年に複数あいつ回りを実施している。入院時には密に連携を図り状態把握に努め早期退院に向けた調整を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入退院支援の看護師、医療相談員と連携を図り対応しており、入居者のための行動をより実践して欲しい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時や状態変化がみられる際に、今後の方向性について相談している。系列施設との連携も深め		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時や状態変化時はもちろんだが、定期的に今後の方向性を相談していくようにした方が、家族も安心できるのではないかと。

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる		早期対応が図れるよう、情報共有を行っている。			
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時マニュアルを準備、掲示。ここ2年間で全職員が救命救急講習を受講している。その他、内部研修を行い実践力を強化している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災、地震想定避難訓練を行っている。災害対策用品を追加購入している。町内の防災避難訓練において、災害時の地域の協力体制について確認している。	BCP訓練、避難訓練、町内の避難訓練など、今まで以上に災害への意識を高めてきている。町内とは今後も協力体制を強化していきたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	災害対策は地域課題でもある。いかに連携を強化していけるかが重要になってくると考えられる。町内会とも情報共有が図れるように、適宜話し合いをしていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人に合わせた支援を心掛け、声の大きさや距離感等、プライバシーに配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コミュニケーションを図るうえで、お互いの信頼関係が重要。その上で会話等の距離感をもっともっと大切にしてほしい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の主体は入居者様であることを踏まえ、意向や生活リズムに添うように支援している。例として掃除や新聞購読時間を個別に設けている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとに旬のものを提供するように心がけている。行事食では普段提供できない料理を積極的に取り入れている。準備や片づけは毎食一緒に行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節の感じられる食事の提供は重要。施設に入所した後は、食事が一番の他の市民ある方も多い。サラ・エンの食事を町内会へも情報提供してほしい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の管理栄養士作成の献立に基づき提供している。口腔内や嚥下状態を把握し個別に食形態を配慮し、摂取量の確認も行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後の口腔ケアや就寝前の義歯消毒等、個別に声かけや介助を行い、口腔内の清潔保持に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの勉強会も開催しており、口腔ケアに対する意識が見える。最近では認知症と口腔清潔の関係性がクローズアップされており、継続したケアをしてほしい。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人一人の排泄パターンを職員間で共有し、一人ひとり必要な排せつ支援用品を使用している。主治医へ相談し、個別の便秘予防、便秘解消に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排せつ援助は、介護の中でも難しい仕事。その上で個別ケアを意識するのは大変。だからこそ、手を抜かず行ってほしい。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入浴の順番が毎回同じにならないように配慮している。希望のタイミングがあれば随時対応し、大切なひとときを過ごして頂いている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	昼夜問わず、個々のペースに合わせての休息時間に配慮している。安心して眠れるように寝具や環境整備の支援を行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬の W チェックや変更時には申し送りにて情報共有している。薬剤師より変更時の注意点などの指導を受けている。服薬管理マニュアルを改訂し、対応力の強化を図っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬支援を一生懸命行っているが、ヒヤリハットが多く出てきている。今後改善が必要だと思う。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コミュニケーションの中で一人一人の好きなこと楽しみたい事を知り、楽しんで頂けるように努めている。また、個々の力量に合わせて家事の分担を行い、やりがいを感じていただけるよう支援している。	<p>日常の家事分担、レクでの役割分担、個別の買い物支援、家族との協働対応など以前よりも個別案件が増加している。入居者より実施したい行事の提案もあり、今後可能な限り対応をしていきたい。</p>		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	2ユニットそろってのドライブや個別の買い物を実施。また、家族の協力により外出する方が複数名いらっしゃるが、昨年よりも機会は増えてきているが、まだ少ないと思われる。	<p>前年に比べ、外出行事が多くなっている。感染状況を確認しながら、外出機会を増やし地域との関りを増やしていきたい。増やしていきたい。</p> <p>個別に外出されている方々もおり、継続してもらえよう支援していきたい。</p>		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出しての買い物支援は、数名実地で来ているのみであり、今後多数の方が実施できるよう、今後は少数人数での買い物を実施していきたい。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話や手紙のやり取りはいつでも自由にできる環境を作っている。数名の入居者は希望時にご家族へ電話し会話を楽しんでいる。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節を感じられる飾りつけや行事を企画。個々に合わせた役割・作業をしていただき生活感や安心感のある雰囲気づくりを心がけている。ホールにはソファを置き、自由にくつろげる空間を作っている。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に合わせて飾りつけを変えたり、生活空間が心地よいものになるよう工夫している。 車椅子だけでなく今年からは歩行器も配置しており、より安全面にも配慮した空間づくりを確認できている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由に館内を往来でき、入居者同士が自由に会話したりくつろいだりと、和やかな雰囲気が出来ている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族からの情報収集し、一人ひとりの生活歴を大切にケアを実施している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的に体調観察を行い、医師・看護師と密に連携して健康管理を支援している。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外旭川サテライトクリニックとの連携があり、他施設以上に医療連携が強化されていると思う。情報共有を強化してほしい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅とは異なる環境により、不安が大きい面もあるが、可能な限りこれまでの習慣を継続し、個人を尊重した生活ができるよう支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使い慣れたものやなじみのもの(タンス、写真、裁縫道具、本等)を持参し生活している。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室内のレイアウトや写真の掲示など、ご家族も介入されている方々もあり、今後も継続してほしい。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響により機会は少ないが、地域行事への参加している。数名の入居者は家族と共に外出されている。	感染症対策強化している時期に催しが度々開催されており、今後はどこまで参加することを許容していくのが課題になると考えている。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの持つ能力を把握・共有し、自身の役割や楽しみを感じていただけるよう支援している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	レクリエーションは積極的に行っているが、外出や家族と関わる機会などを増やすことにより、生き生きと過ごせる機会を増やしていきたい。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症サポーターのマスコットグッズづくりや、オレンジガーテニングプロジェクトへの参加など、地域との関り、社会との関りにも関心を高めている様子がうかがえる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	昨年に比べ、地域行事(防災避難訓練、鹿島まつり)などへの参加や交流の機会を持っている。	地域との良好な関係性づくりが、よりよいサービス提供になると考えている。 新年度は、今年度以上に町内会をはじめ地域との関りを強化していけるようにしたい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で暮らしているような生活を送れるよう、家事援助や行事、レクリエーション等を一緒に行っている。今後もより良い日々を過ごしていただけるよう、個別活動の推進、外出機会の促進、美味しい食事の提供強化を中心に、多くの方に信頼、信用され、笑顔こぼれる安穩な GH を目指していきたい。	入居者の入れ替わりが少なく、長期で生活を共にされている方々も増えている。その中で、互いに助け合う姿や職員への思いやりを持って下さる入居者もあり、「共同生活」していくことを前向きに捉え、誰にとっても安心でかけがえのない場所としていきたい。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者の表情を見ると、いかに穏やかな生活を送っているのかが分かる。良い部分はよりよく、改善が必要な部分は意味のある改善を実施してほしい。 町内会も応援するので、地域全体でグループホーム・サラを盛り上げていきたい。